



# AJU 愛実

編集: 特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実  
(大地の家/愛実友だちの家/紙風船)

第39号 会報

定価:一部100円

「情けは人の為ならず!」/島しづ子・・・・・・・・・・P1

愛実の会からのお知らせ 認定NPO取得/居宅介護事業所あみ移転・P2

大地の家のページ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3~5

紙風船のページ・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6~8

「私にしかできないこと」/南 寿樹・・・・・・・・・・P9

寄付者名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・P10



防災訓練/紙風船・大地の家合同

## 「情けは人の為ならず！」

理事長 島 しづ子

名古屋ダルクという団体がある。愛実の会と同じころ活動を開始し、共に窮乏時代を過ごしてきた。竹谷基神父が初期から後援会代表である。ある日、神父から紹介されたと言って、現理事長の柴真也さんともう一人のスタッフが会いに来た。経済的に行き詰っているのを、助けてほしいと言うことだった。私の方も借金して給料を払う時期で融通は出来なかった。それで知り合いに頼んだりしていくばくかの援助をした。

その後、一緒にチャリティーコンサートをしたりして協力関係を結んできた。時々、柴さんに、私の所属する教団の「障がい者と教会」交流集会などで講師をお願いしてきた。2月にも委員のために研修をしてもらった。柴さん達スタッフは新しい手法の依存症回復の道筋を学んでいて、その中から導いてくれた。示唆に満ちた研修だった。今、私は2017年10月9日に行われた「障がい者と教会」交流集会の報告書を作成中である。柴さんはじめスタッフの方々の講演をまとめながら、その無駄のない真実にあふれた言葉に圧倒された。その中で、柴さんは依存している薬物やアルコールなどを止めることよりも、薬物などに頼って見ないようにしている、心の奥底の自分の問題をごまかさないと見つめることが必要だと言う。そのためには毎日ミーティングで話し、同じ道をたどってきた先輩や仲間との日々の共同生活の中でそれが出来て、次第に回復していくと語っている。

私たちは自分の暗闇を見ないように、弱さを他の人に気取られ無いように鎧を着て生きている。そのために息苦しい。息苦しきから薬物などに頼った自分から、裸になったような無防備な自分になって生き直す。危険だけど、そこには人間の真実な姿がある。私はダルクの歩みを傍観しながら、そのプロセスは他の健康だと思っている私たちにも必要なことではないかと思っている。

あの時、柴さんたちが訪ねて来てくれたことは朗報だった。その後、プライベートな出来事でも柴さんに助けてもらった。表題の「情けは人の為ならず」は①「なさは人の為だけではなく、いずれ巡り巡って自分に恩恵が返ってくるのだから、誰にでも親切にせよ」という意味である。最近②「なさをかけるのはその人の為にならない」という解釈をする人も多いらしいが、本来は①の意味である。こんなにもダルクに助けてもらうことになるとは。私はダルクの活動は現代人の根源的な回復に必要なと思っている。今年も6月22日（金）午後7時から「名古屋働く人の家」で、趙博さんのチャリティーライブを予定している。趙博さんには同日午後1時45分から愛実の会でライブをして頂く予定だ。参加したい方は島までどうぞ！



## 愛実の会からのお知らせ

昨年から申請をしていました認定NPO法人の認定を、2018年3月6日付で名古屋市より通知を頂くことができましたのでここにお知らせ致します。今回、認定基準をクリアすることができましたことは、愛実の会への皆様方多くのご支援の賜物であり深く感謝申し上げます。今後はより高い公益性と情報公開が求められていく事になりますが、障がい者福祉の実践をとおして、愛実の会の支援の輪を更に広げていきたい所存であります。今後とも温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

絶対値基準 年間3,000円以上の寄附者×100人以上

### 《認定NPOの税制上の優遇について》

#### ★ 個人が寄付をした場合

3月6日以降の寄附金につきましては、今までの領収書に代えて寄附金受領証明書を発行いたします。証明書は確定申告の際に「寄附金控除」を受ける為に必要となりますので大切に保管して下さい。所得税(全国)及び住民税(愛知県内の方)の40~50%が還付されます。

例) 寄附金1万円 = (1万円 - 2千円) × 50% = 最大還付金4千円

#### ★ その他の優遇

- ①法人が寄付をした場合→損金に算入できる金額が拡大されます。
- ②相続人が相続財産を寄付した場合→寄付額分の相続税が非課税となります。



### 寄附金のお願い

寄附金の受付は今までと変わりませんが、年間で3千円以上の寄附者×100人以上絶対値条件(PST)=100人となっていますので、皆様のご支援をよろしくお願い致します。

※ 同一生計世帯の方は、複数の寄付があってもPST=1カウントとなります。また、受領書は寄付控除を受ける方の個人のお名前をご指定下さい。連名の場合は寄付控除が出来なくなりますのでご注意下さい。

## 居宅介護事業所 あみ 4月よりリニューアルオープン!

愛実の会の居宅介護部門が今春4月より、「障がい者デイセンター愛実」東隣の真栄マンションB棟1階に新事務所を構えオープンすることになりました。メンバー、ご家族の地域生活をサポートするためのホームヘルプ事業を拡充し、みなさんの笑顔とやりがいのある福祉を目指して行きますので今後ともご支援をよろしくお願い致します。お近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。

管理者：戸田真二

サービス提供責任者：齊藤美佐子



### 介護スタッフ大募集! 是非ご紹介下さい

登録ヘルパー 時給1,300円~ 交通費支給

1日=1時間からでもOKです。空いてる時間に働く事ができます。 要資格: 旧ヘルパー2級以上  
お問い合わせ 090-3831-0673(戸田直通)



# 大地の家のページ

(P 3~5)

## 1月 紙風船と合同新年会

紙風船と合同の新年会を行いました！  
ホールに全員集まり、新年にちなんで干支や正月に関する物のクイズで盛り上がりました。

グループ分けでは大地の家のメンバー、紙風船のメンバーも一緒になり、みんなでゲームが楽しめたと思います。

今後も楽しく全体で参加できる活動をしていきます♪



## 掛川 花鳥園

大きな温室の中では色とりどりの鳥たちが放し飼いになっていました。

ドライフードやリンゴなどを手に持つと我先に鳥が飛んできてメンバーやアシスタントの頭や肩にとまってご飯をおねだり。突然飛んでくる鳥に最初はメンバーもびっくりしていましたが、だんだん慣れてくると嬉しそうに笑っている方が多くいました。

「動かない鳥」で有名なハシビロコウは温室の一番奥にじっと立っていました。鋭い睨みつけるような怖い顔をしていましたが、正面から見るとどこか愛嬌があり、しばらくメンバー達とお互い見つめ合い。全く動かないハシビロコウにメンバーも不思議そうな顔をしていました。

フラミンゴやオオハシなどがいる水辺のゾーンではたくさんの鳥に囲まれかなり迫力がありました。





## アクア・トトぎふ

ロビーでは桃の節句をイメージしたひな人形のレイアウト水槽に迎えられました。メンバーは中を泳ぐ金魚とどちらも綺麗だねと見入っていました。

館内ではまずエレベーターで4階まで上がり、スロープを下りながら見学をしました。岐阜県を流れる長良川を上流から下流へと下るようにレイアウトされた展示は、下っていくごとに違う種類の魚や爬虫類を見ることができ、「かわいいね」「大きいね」と言いながら、水辺を生物と一緒に歩いているようでした。

最後に屋外でアシカのショーを見ました。大きなアシカが身軽に芸をする毎にメンバーは手や足だけでなく体全体を使って楽しさを表していて、楽しい外出になりました。

## なばなの里 梅見

この春一番の嵐と言われた天気でしたが雨も上がりお出掛けをすることができました。まずは梅見の前に皆で腹ごしらえ。外出の楽しみの一つのご飯を美味しく食べた後は、この時期なばなの里で開催されている梅まつりへ。満開とはいかず6分咲き程でしたが、紅や桃、白色の梅の花があり、花の香りや色に癒されメンバーはとても良い表情でした。

その後は、ベゴニアガーデンという温室へ。温室内には、ベゴニアを中心に色々な種類の花が天井や横から、そして下からも一面にあり、花に囲まれメンバーもジッと見ていたり、「写真を撮って」と写真を撮ってもらったり、それぞれでゆったりと過ごしていました。季節に触れられたお出掛けで、花に癒されメンバーもとてもいい表情で楽しんでいました。



# 2018年度活動方針

## メンバーと向き合う



昨年度は、「メンバーの思い・気持ちを汲み取り、寄り添えるような関係作りを目指す」ことを大地の家の大きなテーマとして1年間メンバー達と関わってきました。

年度末の振り返りでは、どのアシスタントもテーマを意識し、メンバーと向き合うことを大切にしているが、まだまだ十分ではないかという意見が多くあり、来年度も同じテーマでメンバーに寄り添い、メンバーとの関わりを大切に1年にしていくことになりました。

同じテーマではありますが、メンバーとの関わり方や、活動をより楽しめるようにするなど工夫をしていきたいと思えます。

例えば、今までメンバーとアシスタントの1対1での関わりを中心に行ってききましたが、今年度はメンバー・アシスタント全員で参加できるような環境作り、関係作りに力を入れていきます。

また活動では感覚刺激の1つとして「音楽」の活動に力を入れていく方針です。

普段の活動でも、リトミックといって外部の講師をお招きした音楽活動を行っていますが、毎回どのメンバーの方もとてもいい表情をしています。ピアノの音楽が聴こえるだけで笑顔になる人もいて、音楽の力の大きさを実感することが多く、他の日中活動でも音楽の要素を取り入れていきたいと考えています。

アシスタントも専門性を身に着け、より良い大地の家を目指していきます。

# 紙風船のページ

(P6~8)

昨年度は、少しゆったりと歩んだ一年でしたがメンバー・アシスタント一人ひとりが自分のペースを保ちながらも徐々に成長できた一年でもありました。新たなメンバーも増えました。みんなで協力しながら紙風船の”持ち味”を皆様にお伝えしていけたら、と思っています。

## クリスマス会

お客様を招いてのクリスマス会は2年ぶりでした。元職員やメンバー、いつもお世話になっている先生に久しぶりに会える楽しい日のために、メンバーは様々なアイデアを出し合い内容を検討しました。本人にしか答えが分からない「メンバークイズ!」では意外な正解に驚きと笑いが絶えませんでした。

午後には3つのコーナーに分かれてのお楽しみ。前号でもお伝えした「シティハンディマラソン」でのメンバーの頑張る姿をビデオで振り返りながら感動を再認識する人、ゲストの方々と思い出話に花を咲かせる人…。そして、参加者全員に思いがけないプレゼントも!!

当日は、元職員のお子さん達がかわいいサンタ姿でやってきて途端に空気が和やかに!メンバーはお子さんたちともふれあって楽しい時間を過ごしていました



## カモチは誰だ?~紙風船もちつき大会~

杵と臼を使って昔ながらのおもちつきをしたことがありますか?

新しい年を迎え、紙風船ではおもちつき大会を開催しました。今年も健康に過ごせますように…との願いを込めて順番にぺったんぺったん!つき上がったおもちをやわらかい内にちぎっては思い思いの形に丸めていきました。

安全上その場で食べる事はせず、各ご家庭にお持ち帰り。後日の連絡ノートに「おでんの巾着に入れました!」「焼いていただきました!」などの報告があり、みなさんそれぞれ味わって頂けたようでした。メンバーからも、「楽しかった、またやりたいね」という声。新年のスタートの行事として定着しそうです。

杵と臼を貸してくださった学校の先生、協力いただいたドライバーさんや厨房の方々に本当に感謝しています。ありがとうございました!



## お出かけ報告☆

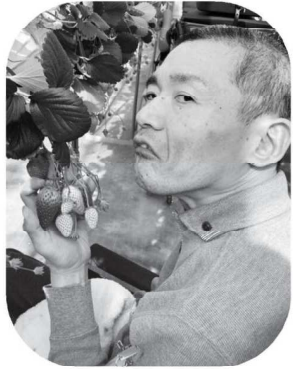
レクリエーションとしてもいろいろな所へ出かけてきました。全員での移動はなかなか大変になり、グループに分かれての遠足☆  
今回は3グループのお出かけの様子を一挙にご報告したいと思います。

☆ラグーナテンボスへは  
2回に分けて出発！！



2日間ともあいにくのお天気…  
でも楽しかった♪

☆2月には、名古屋市いちご畑でのイチゴ狩り♪♪  
大きくてあま〜いイチゴ  
にご満悦！



イチゴ畑が  
お出迎え♪



これからも楽しく元気に出かけていきましょう！！

## 調理体験

メンバーは毎日おいしい給食をいただいて午後への活力にしています。とても楽しみな時間です。

ある日、自分たちでお昼を作ってみよう！ということになりました。メニューは「お好み焼き」！

グループに分かれて野菜を切る人や材料を混ぜる人、ホットプレートの上で焼けたものをひっくり返す人など役割りを決め、それぞれが協力しあっておいしいおいしいお好み焼きが完成しました。

自分たちで作ったごはんはまた格別においしく。少々形が悪くてもみんなペロリとたいらげてしまいました！メンバーには他にもつくってみたいメニューがあるようなので機会があればまたチャレンジしてみましようね！





## 【公演だより】

- 第234回 2017年12月9日 長久手社会福祉協議会主催 長久手ふれあい劇場 「ポーちゃん」
- 第235回 2018年2月17日 全日本教職員組合障害児教育部 中部・東海・北陸ブロック学習交流会  
「ぼくたちにできること」
- 第236回 3月27日 心温ボランティア招待公演 「かめさんのありがとう」

### メンバーの声～これからの紙風船～

新メンバーが2名増え、さらに新たな道を歩み始める紙風船です。年度末を控えた3月、メンバーに改めてアンケートを取りました。人形劇はもちろん日々の活動について、これからの関わり方などを聴きました。少し難しい課題だったかもしれませんが、メンバーは一生懸命考えてくれました。その声を少しご紹介します。

- ・音響中心で参加してきたが役者にチャレンジしていくぞ！
- ・自分なりのイメージを持ちそれを表すことのできる役者を目指します！
- ・車いすダンスをしてみたいな…
- ・小さな子どもさんに喜んでもらえる公演をしていきたい
- ・東京オリンピックの開会式に出る！
- ・発声法や呼吸法を充実させていきたい



お客さんとのふれあい☆

他にも様々な希望や夢がありました。そのすべてを叶える事は難しいかもしれませんが、でも小さくても心に何かともし火があれば、そこに向かってみんなで協力していく事はできます。少しでもそのともし火が大きくなるようアシスタント一同協力していきます。そしてメンバーの心からの笑顔がどこまでも広がっていく事を望んでいます！

### ～日々感謝しながら～ 紙風船アシスタント福地愛



紙風船のアシスタントになって2年目の福地愛と申します。紙風船は、私にとって初めての福祉の世界でした。介助の方法などわからない事がたくさんある私に「どうしたら伝わるか」を一生懸命考えながら教えてくださっているメンバーさんや先輩方に本当に感謝しています。更にできる介助を増やしていきたいと思っています。

また人形劇では、現在音響や小道具で参加しています。それぞれの作品で、人形の動きやセリフに合わせての音響操作はとても難しいのですが、タイミングよく音が出せたときの嬉しさは計り知れません！今、目標にしているのは”笛”を使って低音を出せるようになることです。

まだまだひよっこな私ですが、これからも人形劇はもちろん様々な活動を通して、紙風船の一員としての自覚を養っていきたいと思っています。どうぞ温かい目で見守ってください。よろしくお願ひ致します！

### 公演依頼募集中！

- ☆1公演 (30分～1時間) 2万～ (演目によります)
- ※予算につきましてはご相談に応じます。
- ☆各地域のイベントや学校の福祉教育など目的に合わせたプログラムを組むことができます。
- ☆紙風船は、観てくださる方々に笑顔が生まれる楽しい人形劇をお届けします。一緒にステキな時間を過ごしませんか？

「ぼくたちにできること」



ホームページ、ブログ、フェイスブック、ツイッターで紙風船の活動の様子をご覧ください。

「人形劇団紙風船」をWebで検索！

人形劇団紙風船



## 私にしかできないこと

南 寿 樹

「あなたにとって、今の自分をつくった、あるいは自分を変えた出会いとは？」

先日参加した全障研東海ブロック研究大会のパネルディスカッションでのこと。コーディネーターの土岐邦彦氏（岐阜大）が問いかける。パネラーは、障がいをもちながらも福祉現場で職員として働く若者が二人。そのうちの一人、マコさん（日福大卒・筋ジストロフィー症）は、「出会いですか？」と想定外の質問に戸惑いながらも、少し時間をおいて次のように答えた。

「・・・特別支援学校で出会った仲間ですかね。普通校で学んでいた私は特別支援学校に転校したのですが、そこで出会った同級生や下級生の子、そして今の職場で日々遊んでいる子どもたちとの出会いだと思います。同じような障がいで苦しんだからこそ分かる、苦しんでいる子の気持ち。私にしかできない支援ができるかもしれないと思うことができました」。

土岐氏は、「重要な他者」との出会いの意義を強調する。私は（自分にとっての重要な他者とは？）を考えてみた。（出会った全ての人が今の自分にとって重要だったなあ）振り返っていると、マコさんの言葉「私にしかできないこと」に関連して元同僚の石井康夫先生を思い出した。

港養護学校に転勤して3年目（教員6年目）、石井先生とは中学部の重度重複学級で互いに副担任として一緒に働いていた。1歳上の石井先生は、「仕事ができない」と陰口を言われていた。声が小さくとても控えめで、ほとんどしゃべらないからだ。その石井先生が、珍しく話しかけてきた。

「南先生は、明るく元気でみんなに人気があってうらやましい。でも失礼かもしれないけど、学校の先生がみんな南先生だったら僕は疲れるだろうな。学校にはいろんなタイプの先生がいた方がいい。僕は地味で心が弱いけど、だからこそ心の弱い子の気持ちがよく分かる気がする」ショックだった。でもすんなりと胸に響いた。なぜなら石井先生は、障がいの重い生徒に笑顔で静かにかかわり、「まったりとした世界」をつくるからだ。一方私は、前年度まで障がいの軽い生徒の担任としてにぎやかな学級活動をしていたので、つい明るく大きな声で接してしまう。すると生徒たちは身体を固くし、緊張する。私は、外見では分からないが信頼関係がつかれずにあせっていた。でも現実、管理職をはじめ周りの職員は私のように「明るくて元気な先生」は良い先生と評価し、石井先生のように声が小さく控えめな先生に「指導力不足教員」のレッテルを貼りがちになる。——石井先生から「いろいろな特性をもった人がいることが豊かな人格形成の環境をつくる」と学んだ。

1年後に私は再び普通学級（中1）の担任に戻った。年度初めのある日の帰りがけ、浩美（クラッチ杖使用）が「私、スチュワーズになりたい。でも無理よね」と言ってくる。その時、頭に石井先生の言葉が浮かんだ。「無理じゃないと思うよ。そりゃ、身長制限や英会話などの壁はあるけど、しょせん会社が勝手に決めたこと。浩美は障がいがあるからこそ障がいのあるお客さんのことが分かるだろ？ そのことをアピールしたら」と言うと、浩美は「えー、笑われるかと思ったのに」と驚き帰って行った。次の日「あれから考えたんだけど、やっぱり小鳥屋さんになる」と浩美。私「それも浩美らしくていいねえ」。そこにはすがすがしい笑顔があった。（自分の好きな自分になってね！）

——世の中は多様性の集合体。企業（社会）が求める人間像をめざし、画一された人間ばかりになると、この社会はつまらない。「みんなちがって、みんないい」（金子みすず）の詩のように「私にしかできないこと」を追求する若者たちを応援していきたい。もちろん、私も「私にしかできない、私だからできること」を追求していきたい。

【NPO愛実の会寄付者名(順不同・敬称略) 2017年月11月1日～2018年3月31日】

★寄付金

木村 睦子 水戸 潔 早川 教示 下村 徹嗣 持田 由美子 望月 八重子 牧野 雅樹  
石田 利彦 伊藤 操 坂田 昌子 足立 克己 早川 久美子 成瀬 絵里子 宮崎 正和  
武井 陽一 竹山 徹 西川 道子 野崎 典子 岩崎 千恵子 矢口 由美子 鶴崎 祥子  
金田 好美 柏木 實 伊藤 節子 福田 和子 津田 加代子 榊原 喜代子 加藤 久雄  
三浦 定代 岩田 妙 藤原 信子 町田 玲子 加藤 由美子 山崎 眞由美 堤 肇  
佐藤 全弘 林 貞次 阿部 健二 森 起美恵 伊藤 まり子 川口 いづみ 竹田 朋子  
矢澤 綾子 松本 普 田中 綏子 牛田 ヒサ 長谷川 孝子 可知 一三四 伊藤 裕子  
水野 享好 黛 八郎 寺田 仁計 川口 耕平 塚田 多佳子 石原 つや子 志村 澄江  
三輪 玲子 細川 拓 大村 恵子 見木 靖美 土屋 美恵子 楽 有紀美 伊藤 秀章  
河内 常男 出口 斉 徳永 五郎 小池 耕一 伊藤 あつ子 吉丸 あさ子 梅村 亜恵  
奥山 喜正 蔵知 浩 長村 秀勝 前田 栄子 宇田 ゆき子 加藤 真規子 伊藤 暁子  
真木 芳子 太田 栄 中谷 塩子 柴田 京子 八木 隆太郎 宮川 優子 伊藤 和子  
武田 初代 近藤 洋 尾関 静江 清水 茂雄 細田 和民 塚田 正昭 比企 敦子  
西山 公子 野村 裕子 瀬口 昭代 上泉 淳子 大藪 礼子 楠本 啓子 戸田 真二  
島 しづ子(複数回)  
村上 貴久・裕子 佐藤 正幸・純子 石田 周介・伊志子 加藤 明宏・朱美  
市原 信太郎・誉子

信濃村教会 名古屋ワイズメンズメネット会 京都みぎわキリスト教会  
浜松聖書集会 日本福音ルーテル復活教会 埼玉新生教会女性の会  
日本キリスト改革派金沢教会 教団) 豊山教会 教団) 愛知守山教会女性の会  
教団) 中京教会 教団) 豊田教会 教団) 豊明新生教会 教団) 鳴海教会  
教団) 広路教会 教団) 御器所教会 教団) 知多奥田キリスト教センター  
教団) 刈谷教会 教団) 各務原教会 教団) 大野教会 教団) 名古屋新生教会  
教団) 坂下教会 教団) 天白教会 教団) 西尾教会婦人会 ぎのわん日曜集会  
教団) 名古屋中央教会 教団) 金城教会社会福祉委員会 教団) 愛知教会女性の会  
在日大韓基督教会豊橋教会 在日大韓基督教会小倉教会 南山幼稚園 平塚YWCA  
名古屋YWCA 学) 安田学園新生幼稚園 済美高等学校宗教部  
金城学院高等学校 中部学院大学宗教委員会 捜真女学校中学部・高等学部

★紙風船夢づくり

大坂 晴一 西川 道子 成田 秀子 斉藤 充加 数原 陽子 南 寿樹 長谷川 耕司  
木村 淑江 宮原 祐子 矢澤 綾子 加藤 百代 一條 敬子 富田 耀 水島 トミ子

★物品寄付

宮嶋 映子 水谷 恵子 塚田 多佳子 上野 嶺 滝村 美智子 (有) 山建商店

【任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」寄付者名 (順不同・敬称略)】

吉谷 尚之(複数回) 渡井 秀雄 亀田 隆子 滝村 美智子 大藪 礼子  
喫茶愛実 八事教会 豊橋教会ひつじの会 岡崎茨坪伝道所  
名古屋桜山教会婦人会 シヤロン会

ご協力ありがとうございました。

【ボランティアでご協力いただいた方（順不同・敬称略）】

紙風船 永田 友香 大地の家 小野 裕子

ご協力ありがとうございました。

職 員 異 動

【新人・ドライバー】

□織田 信義

11月よりドライバーをしている織田です。勤務初日よりメンバーの笑顔やお話に感動する毎日です。安全な送迎を心掛けます。よろしくお願い致します。

【新人・給食】

□青山 真由美

11月より厨房で働いています青山です。皆さんに美味しいと言ってもらえる食事を作れるように頑張りますので、よろしくお願い致します。

【退職・ドライバー】

□星野 公治

長い間、本当にお世話になりました。

お体に気をつけて楽しい日々を過ごされますよう心からお祈り申し上げます。

寄 付 金 の お 願 い

紙風船の人形劇活動（人形修繕や大道具・小道具作成費用等）のためにご寄付をお願いいたします。紙風船へのご寄付は、通信欄に「紙風船夢づくり」など書き添えていただきますようお願いいたします。

【所在地・連絡先】

特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

□ 障がい者デイセンター愛実（生活介護）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24

TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889

□ 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24

TEL：052-693-7645 FAX：052-746-2639

または

【「NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490

□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 1□1,000円 何□でも結構です

- ◆ 寄付金（賛助会費・NPO愛実の会の活動に関する費用）
- ◆ 紙風船夢づくり（人形劇制作費、公演活動に関する費用）